

畜産業におけるトラックを起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
2	6~7	厩舎前の駐車場でトラックの荷台に乗りトラックから荷物を降ろしている時、足を滑らせバランスを崩して転倒しその際にトラックの荷台の角に背中を強打し負傷した。	66	—
3	14~15	4tトラックにシートを掛ける作業中、雨が降っていたため足を掛けていたところが滑り、高さ約1.5mの高さから右足から地面に落下し負傷した。	59	1~9
4	8~9	トレーラーに積まれた牧草（地面からの高さ約3.5m、一梱包重量30kg）を、フォークリフトのパレットに積み替える作業中、トレーラーの上で牧草に手釣をかけ移動させようとしたところ、牧草から手釣がはずれてバランスを失い、体勢を立て直そうとしたが、体の右側を下にした状態で転落し負傷した。	27	50~99
4	15~16	仔豚舎の飼料庫へ軽トラックを横づけし紙袋を移し替える際、約1m下へ足を滑らして落下し、軽トラック荷台部分に脇腹をぶつけた。	45	10~29
5	10~11	農場堆肥場にて鶏糞をおろした後、ダンプ後方で清掃し、開閉部に右足を掛けておりようとしたところ足を滑らせ転倒し、開閉部に右腕と右肋骨を強打した。	41	10~29
6	11~12	本社敷地内の堆肥捨場にて、堆肥を一輪車にてトラックに積み込む際、足を踏み外して転倒し、腰を打ちつけた。	46	10~29
		鶏舎入口で雛80羽を入れた専用台車をトラックから降す時、専用台車がバランスを		10

6	8~9	崩し、また雨天のため車輪が滑り、被災者の足腰に当たってしまった。至急救急車で病院へ搬送された。	45	~ 29
11	14~ 15	乾乳牛舎へ牛を移動させるため、家畜車を誘導していたところ、牛舎入口が少し傾斜があり雪で滑り易い状態だったので少し勢いをつけて車が上って来たので避けきれなく、車のあおり部分と牛舎扉部分に足を挟まれた。	39	~ 29
12	15~16	牧場内の別の牛舎へ移動する為、軽トラックで下り坂の砂利道を走行中、轍を踏んでハンドルを取られ、ブレーキを踏んだが、砂利で滑って前方の土手から5~6m下の田んぼに転落し、顔面と首を打撲、左足に裂傷を負った。	56	~ 99
12	11~12	4tダンプにて堆肥を配達する業務の途中で発生した事故である。発生現場北側から三叉路へ減速せずに進入し、正面衝突を避けるために左にハンドルを切ったところ、4tダンプが右側に横転し、右腕肘から先を4tダンプと路面の間に挟み込まれた。	40	~ 49

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html